

留 学 報 告 書

記入日:2020年6月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部/政治学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: テンプル大学 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Political Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月23日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月上旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約4万人
創立年	1884年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	8710	871,000円	明治大学の学費分です
宿舍費	12500	1,250,000円	
食費	4430	443,000円	
図書費	150	15,000円	
学用品費	100	10,000円	
携帯・インターネット費	350	35,000円	T-Mobileのファミリープランを使用しました。
現地交通費	100	10,000円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	300	30,000円	
医療費	10	1,000円	保険を使つての受診
保険費	1200	120,000円	形態:明治大学指定の保険
渡航旅費	1500	150,000円	主に冬休みの旅行
ビザ申請費	360	36,000円	
雑費	200	20,000円	
その他		円	
その他		円	
合計	22,070	2,207,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田 目的地: JFK 経由地:	
復路 出発地: JFK 目的地: 羽田 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 300,000	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: _____ 料金: _____ 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____	
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: 父の会社関連) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: _____) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 5 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 住居を探した方法:	
大学側から寮を指定される	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
留学生コミュニティがでやすく、とても居心地の良い寮でした。	
現地情報	
1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: Student Health Service (学内の病院) _____)	
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
大学から送られてくる TU Alert という通知を見て、事件のあった場所にはいかないようにしていました。	
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
Wi-Fi の設定が少し難しいので、寮のスタッフの方や IT の相談デスクに行かれることをお勧めします。	
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
現地で銀行を開設し、そこから寮費などを支払っていました。普段はクレジットカードで決済。	
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
インスタント味噌汁、緑茶などのティーバッグ、肌が敏感な人は化粧水や化粧品。	
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The Making of American Society ~Melting Pot or Cultural Wars?~	アメリカの社会構造について
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts/Political Science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が2回
担当教授	Mr. Jim Fowler
授業内容	アメリカの社会や文化を政治的な観点から考察する。
試験・課題など	レポートを 4 回ほど提出。
感想を自由記入	アメリカ社会のリアルを、特にマイノリティーの人々の生活にスポットライトをあてながら学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Development and Globalization	国際化社会とその発展
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts/Political Science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Ms. Roselyn Hsueh
授業内容	グローバル化に対する様々な考え方や、その考え方のフレームワークを学んだ。
試験・課題など	中間考査と News Analysis のレポート提出、プレゼン
感想を自由記入	授業の内容はかなり難しく、毎授業前の予習は必須。履修後は内容の難しさにとらなければよかったと後悔したが、アウトプットの機会が多くとても面白い。学問を学ぶ上で必要不可欠なセオリーを英語で学ぶことができ、得られるものが大きい授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The American Political System	アメリカ政治
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts/Political Science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Mr. Richard Joselyn
授業内容	政治学科の必修授業。アメリカの政治システムについて詳しく学ぶことができる。
試験・課題など	中間考査・期末考査と2回の小レポート
感想を自由記入	政治学科の学生が多く集まる授業だけあり、授業で扱われる内容はアメリカの歴史を知っている前提で行われる。学生同士のディスカッションも活発で、とても面白い授業だった。アメリカの歴史を事前に少し学んでおくことをお勧めする。先生がとても優しい方で、いつも質問に丁寧に答えてくださった。Office Hourには絶対行ってほしい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Ethnicity and Immigrant Experience in the US	アメリカの移民の歴史と現在
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts/Sociology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Mr. Gorkem Dagdelen
授業内容	アメリカの移民の歴史について学ぶ。黒人奴隷の歴史、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、アジアなどからの移民の歴史など幅広く学ぶ。また、不法移民の実態についても学ぶ。
試験・課題など	中間考査・期末考査、2回の小レポート、リサーチペーパー
感想を自由記入	アメリカの移民国家としての実態に関心があった私にとっては、とても勉強になる授業だった。先生自身もトルコからの移民の方だったり、アメリカ人学生の多くが自分の祖先がどのようにしてアメリカにやってきたかを語ったりなど、様々なエピソードを聞くことができ、とても面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Citizenship	国際市民になるには
科目設置学部・研究科	Global Program
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が1回
担当教授	Ms. Samantha Kelly
授業内容	学生と先生が自由にディスカッションする授業
試験・課題など	3, 4回のレポート提出
感想を自由記入	留学生が多く取る授業。Global Program 主催の授業なので、とても和やかな雰囲気で行われる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sustainable Development	持続可能な社会への発展
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Ms. Ritwika Biswas
授業内容	環境問題や持続可能な社会の発展に必要なことについて学ぶ。
試験・課題など	レポート6回、テスト3回
感想を自由記入	自ら調べてレポートを作成する機会が多く、環境問題について主体的に学ぶことができた。授業内でグループでディスカッションする機会もあり、充実した授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Yoga 1	ヨガ
科目設置学部・研究科	College of Public Health
履修期間	春学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践授業(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Ms. Rebecca Lundy
授業内容	ヨガをする。ヨガの思想について学ぶ。
試験・課題など	3, 4回の小レポート提出
感想を自由記入	週に三回のヨガの練習が、自分の中で息抜きになっていた。日本に帰国した今でもヨガを自分からやるようになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Politics of Identity in America	アメリカの政治的アイデンティティについて
科目設置学部・研究科	Political Science/College of Liberal Arts
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Mr. Matthew Stein
授業内容	アメリカにある様々なアイデンティティについて学ぶ。
試験・課題など	オンラインテスト3回、レポート1回、グループプレゼン1回
感想を自由記入	アメリカの多様性を重んじる文化と、それに相反する文化の存在も学ぶことができ、学びが多かった。先生がとても若く、フランクな先生なので、学生も率直な意見を言っておりとても面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Politics	国際政治学
科目設置学部・研究科	Political Science/College of Liberal Arts
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Mr. Travis Blemings
授業内容	国際関係論の理論を実際の出来事を例に挙げながら学ぶ。
試験・課題など	テスト3回、小レポート2回、ディベート1回
感想を自由記入	国際政治がどのような体系的構造のもとにあるのか、理論に基づいて学ぶため、論理的思考力が身につけられた。情報量が多いので、クラスメートとノートを共有するなどの工夫をすることをお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American State and Local Politics	アメリカの州政府とローカル・ポリティクス
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Mr. Conrad J.Weiler
授業内容	アメリカの地方政治について学ぶ。
試験・課題など	テスト4回
感想を自由記入	先生がとても気さくな先生で、授業はとても和やかな雰囲気で行われる。アメリカ政治について知識があることが前提で行われる授業のため、事前準備が必要。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中にアメリカのボストンで毎年11月にキャリアフォーラムが行われます。私は参加しなかったことを少し後悔しているので、是非アメリカに留学に行く方は2年生の人も行ってみたいと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	語学の勉強
4月～7月	語学試験の勉強(政経学部の ACE プログラムを活用)
8月～9月	語学試験の勉強、出願書類準備
10月～12月	語学試験の勉強、出願、選考
2019年 1月～3月	航空券購入
4月～7月	ビザの取得、予防接種、履修登録
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間・期末試験
2020年 1月～3月	春学期開始、コロナウイルスの影響で緊急帰国
4月～7月	オンライン授業受講
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がテンプル大学を選んだ理由としては、①ニューヨークやワシントン D.C. といった大都市に近かったこと、②政治学の授業が充実していたこと、③非常に多様性に富む大学であったことが挙げられます。実際にテンプル大学で留学を経験して、想像以上にテンプル大学が留学生に対して寛容な大学で、留学先大学としてはこの上ない大学なのではないかと感じています。テンプル大学のあるフィラデルフィアは、かつてアメリカの首都だったこともあり、地下鉄で出かけると歴史的な街並みを見ることができたり、映画「ロッキー」に出てくる有名な階段がある美術館などに行くことができます。是非積極的に学内・学外のイベントに参加して、充実した留学生活を送ってください。もしテンプル大学のことについて知りたいことがあれば、お気軽に連絡をください。応援しています！

